

# デューダムズ **autocult**

Renault Type LO Camion Pompier (フランス, 1926)

緊急車両

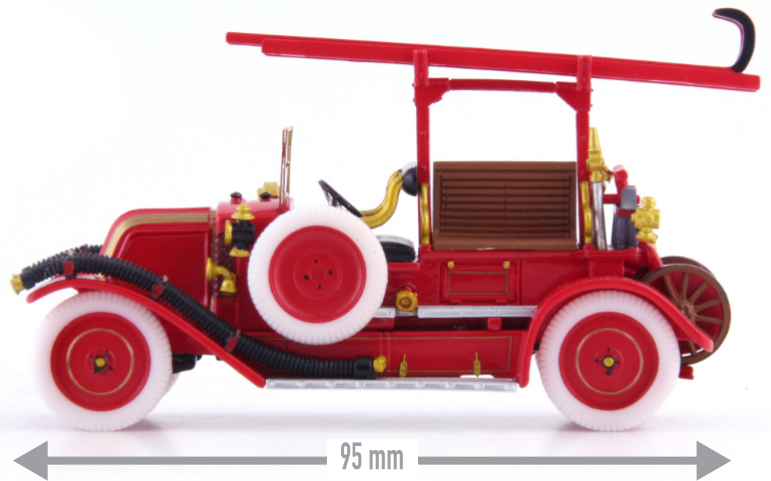
Scale 1/43

**#12019**

available

**11/2023**

Limited edition 333 Stk.



## ルノーの消防活動への貢献

1920年代、多くの消防隊が自動車の存在を知るようになり、それまで使われていた馬車に取って代わった。これはフランスと同様、ドイツでも同様だった。しかし当時は、消防署の要求や希望に特化した会社は数社しかなかった。

まず最初に、小規模なサプライヤーが新たな購買層を獲得したのだが、大規模なルノーの工場もこの顧客層にサービスを提供することにした。

ルノーのボスであるルイ・ルノー自身が、行政のニーズに対応し、消防隊が消防用の近代的な輸送手段を求めていることに気づいたのである。

LOモデルとして、ルノーは消防車を標準装備した。当時の慣習として、ルノーは消防車のボディをドアも屋根もないものとして設計した。車両の縦方向に配置された長い木材からなる簡素なダブルベンチシートに、4人の男性が座

ることができた。一方、運転手と助手席の乗員は通常通りに快適なクッションのあるベンチシートに座れるようになっていた。

そのシートに多くのスペースを取られたため、必要な消火器具は別の場所に配置しなければならなかった。ホースの入ったドラムは - その後何年もその形が取られたが - 後端に取り付けられていた。一方、固定ホースについては、ルノーの技術者たちが巧妙な解決策を見出し、長大な前部フェンダーに取り付けられた。

**AutoCult GmbH**  
Äußere Further Straße 3  
90530 Wendelstein  
Germany

電話番号 +49 / 9129 / 296 4280  
ファックス +49 / 9129 / 296 4281  
info@autocult.de

[www.autocult-models.de](http://www.autocult-models.de)